



Part 4 食物アレルギー☆プロローグ

平谷こども発達クリニック 中西 康子さん

TEL.0776-54-9600

住所 福井市北四ツ居2-1409



【Profile】

大阪府立羽曳野病院（現 府立呼吸器・アレルギーセンター）の小児科でアレルギーについて学び、現在まで小児科一筋。結婚を機に来福し、アレルギー専門医を求めて平谷こども発達クリニックの門をたたく。二人のやんちゃ坊主の母してます。



教えて！

子どものアレルギー

生後5か月を過ぎる頃より離乳食が始まります。湿疹があったり、兄弟に食物アレルギーがあったりすると、離乳食を始めるのに躊躇することがあるかと思えます。離乳食を始めてから思いがけず蕁麻疹が出てびっくりして病院へ行くこともあるかと思えます。

食物アレルギーとはなんでしょう。原因食物（人によって異なりますが個人個人で決まった食物）を食べた後に起こるアレルギー反応で、蕁麻疹・発赤・咳・下痢・嘔吐等、症状も様々です。皮膚症状、呼吸器症状、消化器症状等（表参照）で2種類以上の症状が出た場合にアナフィラキシー反応と呼びます。反応の強さも人様々です。

5大アレルギーと呼ばれるのは米・卵・牛乳・小麦・大豆ですが、魚やナッツ類、エビ・カニの甲殻類、そばによるものも多く見られます。食物アレルギーは幼児期には5〜10%の人が持つていると言われていますが、年齢を追うごとに耐性を獲得しアレルギー反応を起こさなくなること、学童期には1〜2%に減少します。しかしその

後は耐性の獲得は少なくなり、成人でも1〜2%の人が持っていると考えられています。甲殻類や果物などでは、年齢が大きくなつてから出現する場合もあります。

食物アレルギーは個人個人で症状も反応も違うので非常に奥深いです。治療もこの数年で大きく変わってきました。この私の経験を含めて一つずつお話ししていきます。

次回は食物アレルギーの診断についてです。

皮膚症状	身体のかゆみ・発赤・蕁麻疹
口腔内症状	口の中の痒み・イガイガ感
呼吸器症状	咳・鼻水・呼吸困難
消化器症状	嘔吐・下痢・体重増加不良
心循環系症状	頻脈・血圧低下
神経系症状	不安感・意識もろうろ